

パブリック・サービス研究分科会 1 月月例会報告	
日時	2010 年 1 月 25 日
場所	女子栄養大学 駒込キャンパス
記録	山口美奈(実践女子大学)
参加者	植苗(中央大学)、塩瀬(女子栄養大学)、中島(桜美林大学)、山口(実践女子大学)

前回までの進捗状況

- ①前回決めた執筆担当分の論文を 12 月 19 日までに仕上げ、Google Docs & Spreadsheets へアップする。
- ②共同保存図書館の運営・管理部分を各自作成し、メールで交換し合う。

1 月度月例会での作業内容

- ①今回の月例会までに各自担当した論文をすり合わせした結果、章立てを統合する部分が生じ、以前章立てした目次が一部ずれることを確認した。変更部分は前回までの章立て「Ⅰ. 問題意識」「Ⅱ. 研究手法」を統合し、「Ⅰ. 序論」とすることとなったため、以降の章立てが全て繰り上がりとなる。

※今回確認した章立て

- I. 序論
- II. 別置状況と共同保存図書館に求められる機能に関するアンケート結果
- III. 先行事例・先行研究の調査分析
 1. 先行事例
 - 1 米国
 - 2 日本
 2. 先行研究の分析
 - 1 「保存図書館に関する調査研究報告」
 - 2 国立国会図書館関西館（仮称）設立に関する第二次基本構想
- IV. 共同保存図書館モデルの提案
 1. 「できることを、できるところから」
 2. 「預託」というコンセプトの提案
 3. サービス
 4. 運営・管理
 5. 設置母体
 6. 設置場所
 7. 設置・運営費
 8. 施設・設備
 9. 設置費用試算
- V. 実施に向けて

- ②共同保存図書館の運営・管理部分を各自作成した結果、メンバー間に共同保存図書館のイメージの違いが見つかったため、イメージの共有化を図った。具体的には保管方法に意見の相違がみられ、1 点 1 点資料を管理するのではなく、箱単位で資料を管理し、利用のあった資料は元の箱に戻すのではなく、新たな箱に入れて管理すれば利用の有無が判別しやすいとの意見がでた。

次回までの課題

- ・共同保存図書館の管理・運営部分について、引き続きイメージの共有化を図る。
- ・論文内容の検討による、章立て変更の確認（共同保存図書館の部分）